

CASIO®

TQ-740J

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお
り扱いくださいますようお願いいたします。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本
書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、こ
の取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

カシオ計算機株式会社

〒 151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

●電波時計（国内 2 局対応自動選局機能付）
福島県「おおたかどや山」（40kHz）
佐賀県と福岡県の境「はがね山」（60kHz）

●電波受信機能のオン／オフ切り替え

●ベル音アラーム

●スヌーズアラーム（一度止めても再び鳴ります）

●秒針停止（スヌーズアラーム設定時）

●ライト

●本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、
「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管
および「強いショック」を避けてください。

●高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になったりしますので、
暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。

●浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。

●以下のようなところに本機を置くことは避けてください。
・テレビの近くなど（テレビ画面に色むらが起こる場合があります）
・時計、キャッシュカード、プリペイドカードの近くなど

●極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があ
ります。

●本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しない
でください。

●汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」で
おふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では
絶対にふかないでください。

●本機が受信できる電波は「日本の標準電波だけ」です。ただし、日本以
外の地域で使用している場合でも、まれに日本の標準電波を受信して自
動的に日本の時刻に修正することがあります。日本以外の地域でご使用
になる場合は、本機の電波受信機能をオフ（電波受信の動作を行わない
状態）にしてください。

《液晶表示が付いている製品の場合》

●静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生す
ることがありますが、機能に影響はありません。

●液晶表示は、使用温度範囲（0℃～40℃）を超えると、表示が見にく
くなる場合があります。

●液晶表示は、見る方向によって表示が見にくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者から
のいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、
あらかじめご了承ください。

●電池の残量が残っている場合でも 1 年に 1 回は電池を交換してくださ
い。なお、電池を 2 個以上使用している場合は、すべての電池を交換
してください。

●電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。このよう
なときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定
期的な交換をおすすめします）。
→ 誤動作（時刻やアラームなどのリセット、報音の停止、時刻狂いなど）
することがあります。
→ 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
→ アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。

●付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。

●お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池* のため、電池新品
時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
* モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価
格に電池代は含まれておりません。

●電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

製品仕様			
水晶発振周波数：32,768Hz		精 度：電波受信による時刻修正が行えない場合は、平均月差 ± 30 秒以内	
表 示 内 容：時・分・秒（3 針）、アラーム時刻（1 針）		ア ラ ム 機 能：ベル音アラーム アラーム時刻精度＝± 5 分以内 アラーム報音時間＝ 2 分間 スヌーズアラーム＝約 30 ～ 60 分間継続	
電 波 受 信 機 能：自動受信（7 回／日*）、手動受信 * 受信開始時刻＝午前 2 時 16 分 40 秒／午前 3 時 16 分 40 秒／ 午前 6 時 16 分 40 秒／午前 10 時 16 分 40 秒／ 午後 2 時 16 分 40 秒／午後 6 時 16 分 40 秒／ 午後 10 時 16 分 40 秒		● アラーム音を止めた場合、約 5 分後にアラーム音が鳴り出します。 ● アラーム音を止めなかった場合、「2 分間鳴り続けた後に止まり、約 5 分後にアラ ーム音が鳴り出す」動作を繰り返します。	
自動選局機能 〔 受信電波＝長波標準電波 JJY 〕 〔 周波数＝ 40kHz ／ 60kHz 〕 「時・分・秒」を受信 電波受信機能オン／オフ切り替え		そ の 他：ライト 使 用 温 度：0℃～40℃ 使 用 電 池：単 3 形アルカリ乾電池（LR6）2 個 電 池 寿 命：約 1 年（電波受信 7 回／日、ライト 3 秒間／日、アラーム報音 30 秒間／日 使用した場合）	

安全上のご注意

● 絵表示について
本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

● 危険
死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。

● 警告
死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

● 注意
軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

● 絵表示の例

● △記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。

● ⊘記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

● ○記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。

● 袋をかぶらない、飲み込まない
本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしない。
窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 電池について
● 電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す。
目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。

● 乳幼児の手の届く所に電池を置かない。
お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

● 置き場所・使用場所について
● 次のような場所に置かない、使わない。
火災・感電の原因となります。
・湿気やほこりの多い場所
・台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
・暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

● 不安定な場所に置かない、不確実な掛け方をしない。
落下・転倒時には、けがの原因となります。

● 分解・改造しない
● 本機を分解・改造しない。
けがの原因となります。

● 注意

● 電池について
● 破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守る。
○ ・分解しない、ショートさせない
○ ・充電しない
○ ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
○ ・種類の違う電池を混ぜて使わない
○ ・加熱しない、火の中に投入しない
○ ・本機で指定されている電池以外は使わない
● 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる
● 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく
● 電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する

● 電池が液漏れしたまま使用しない。
火災・感電の原因となることがあります。すぐに本機の使用をやめて「修理に関するお問合せ先」に連絡してください。

● 長く伸ばした爪で電池の着脱をしない。
けがの原因となることがあります。

電波時計について

● 電波時計とは
正確な時刻情報 [日本標準時] をのせた長波標準電波（JJY）を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。
この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」などにより制御されています。

電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理などにより、時刻表示に 1 秒未満のずれが生じます。

● 標準電波
標準電波は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県の「おおたかどや山」（40kHz）および佐賀県と福岡県の境の「はがね山」（60kHz）から送信されています。
この標準電波はほぼ 24 時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策などで一時送信が中断されることもあります。

● 電波の受信範囲の目安
条件の良いときは、送信所からおよそ 1 000km 離れた場所でも受信することができます。

《送信所の位置》

●ただし、約 500km を超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなる場合があります。

●受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼／夜）などによって受信できないことがあります。

●電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

●一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

● 電波受信について
本機は「おおたかどや山」（40kHz）と「はがね山」（60kHz）の 2 局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行います（自動選局機能）。通常は毎日、電波受信を自動的に行います（自動受信）。

● 使用場所について
本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。
以下のような場所では、電波を受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。

マンションやビルなどの鉄筋、鉄骨の建物の中
およびその周辺（ビルの谷間など）
●ただし、窓際で使用すると受信しやすくなります。

高圧線、架線の近く

乗り物の中
（自動車、電車、
飛行機など）

家庭電化製品、OA 機器のそば、金属板の上
（テレビ、スピーカー、FAX、
パソコン、携帯電話など）

電波障害の起きるところ
（工事現場、空港のそば、
交通量の多いところなど）

山の裏側…など

● 正しく電波受信するために
● 電波受信できる場所でお使いください（「使用場所について」参照）。

● 本機を電波送信所方向に向けて、受信しやすくなります（本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります）。

最も受信しやすい設置のしかた

・時計表示部または裏面を電波送信所に
向かい合うようにする
・金属板の上などを避けて窓際で行う

送信所

● 受信中に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。

● ボタン操作で現在時刻を修正しても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。

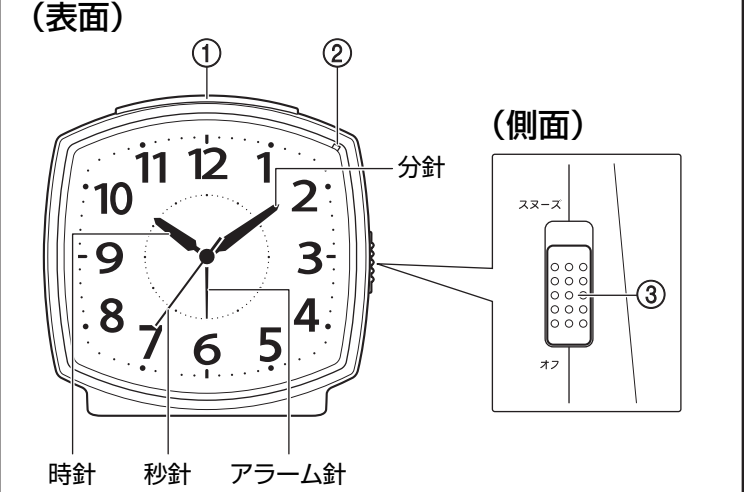
● 電波受信を行わない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。

● 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

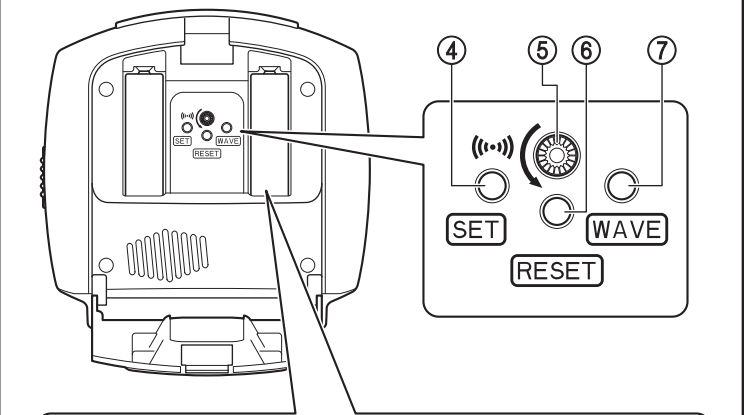
● 電波の自動受信は、1 日 7 回（受信開始時刻＝午前 2 時 16 分 40 秒／午前 3 時 16 分 40 秒／午前 6 時 16 分 40 秒／午前 10 時 16 分 40 秒／午後 2 時 16 分 40 秒／午後 6 時 16 分 40 秒／午後 10 時 16 分 40 秒）行います。
ただし、下記の場合は、自動受信は行いません。
● アラーム報音中

● 電波受信機能のオン／オフについて
本機は、電波受信機能のオン／オフを切り替えることができます。
電波受信がオンの場合： 1 日に 7 回、自動的に電波受信の動作を行います。
また、必要なときにボタンを押して電波受信の操作を行うこともできます。
電波受信がオフの場合：自動的に電波を受信する動作も、ボタンを押して電波を受信する操作もできません。

各部の名称



(裏面 電池ブタを開けたところ)



●電池交換のしかた

電池ブタの開け方

- フックを押しながら
- 矢印の方向に開けてください

電池の入れ方

単3形アルカリ乾電池 (LR6) 2個

電池ブタ (電池ブタは本体とつながっています。)

- ① ボタン (スヌーズ／ライト)
- ライトを点灯させるときに押します。約3秒間ライトが点灯します。
 - アラーム報音中に音を止めるときに押します。
- ② ライト
- 文字板を照らします。
 - ⑦ ボタン押すと最新の電波受信の結果をお知らせします。
電波を受信できたとき：ライトが3回点滅
電波を受信できなかったとき：ライトが3秒間点灯
 - ライトが点滅も点灯もしない場合は、電波自動受信中、または電波受信機能がオフになっています。
- ③ スイッチ (スヌーズ／オフ)
- アラームのスヌーズ／オフを切り替えるときに使います。
- ④ ボタン (SET)
- 現在時刻を合わせるときに押します。
- ⑤ アラーム時刻セットつまみ (📶)
- アラームの時刻を合わせるときに使います。
- ⑥ ボタン (RESET)
- 電池交換後、必ず押します。
 - ボタンが押しにくい場合は、先端の細いもので押してください (製品を傷つけないようご注意ください)。
- ⑦ ボタン (WAVE)
- すぐに電波を受信したいときに押します (手動受信)。
 - 最新の電波受信の結果を確認するときに押します。
 - 電波自動受信中は、操作できません。
- 図は操作説明用ですので、実際の製品とはデザインなどが異なることがあります。

電波受信機能のオン／オフを切り替える

① 電波受信機能のオン／オフを切り替えます

④ ボタンと ⑦ ボタンを同時に約5秒間押し続けます。

④ ボタンと ⑦ ボタン
⇒ 同時に約5秒間押し続けます

はじめてお使いになるときは(電池交換時をご覧ください)

「各部の名称」も一緒にご参照ください。

●「ボタンの押し方」と「取扱説明書での表記」について

本機のボタンの押し方には2つの方法があり、取扱説明書では下記のように表記します。

押してすぐに離す：「○ボタンを押します」と表記します。

しばらく押したままにする：「○ボタンを約△秒間押し続けます」と表記します。

① 電池を入れます

電池ブタを開き、⊕ ⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます (「各部の名称」の「電池交換のしかた」参照)。

- 電池を正しく入れたら電池ブタを閉じます。

② リセット操作を行います

⑥ ボタンを押します。

時計・分針・秒針が「12:00 00」に向けて動き始めます。
「12:00 00」になると自動的に電波受信を開始します。

- 電池を入れた時点で時計としての動作が始まっていますが、そのままリセット操作をしてください。
- ボタンが押しにくい場合は、先端の細いもので押してください (製品を傷つけないようご注意ください)。

③ 電波受信の様子を見ます

使用したい場所の近くに置きます。

- 電波受信が終了するまで、本機に触らないでください。
- 電波受信が終了するまで最長で約15分かかります。

④ 電波受信の結果を確認します

電波受信が終了すると針が動き出します。

電波を受信できたとき：時計の時刻が現在時刻になります。
電波を受信できなかったとき：「12:00 00」から針が動き出します。

⑦ ボタンを押すとライトが点滅／点灯し、最新の電波受信の結果を確認することができます。

⑦ ボタン ⇒ 押します

ライト

電波を受信できたとき：ライトが3回点滅
電波を受信できなかったとき：ライトが3秒間点灯

●電波を受信できなかった場合

⇒「電波を受信しにくい場合」をご覧ください。再度、電波を受信するか、ボタン操作で時刻を合わせてください。

●1～2週間電波受信の様子を見ます

ときどき ⑦ ボタンを押して、電波受信の結果を確認します。

電波状況 (電波の届き方) は、周囲の地形や建物の状況、季節、天候、時間帯 (昼／夜) などの要因で変化します (「電波時計について」参照)。

本機が電波を受信できるか、受信できないかは、その電波状況の変化に影響されます。例えば、昼間は電波を受信できなかった場所でも、夜間には受信できることがあります。

電波を受信できているときが多い
⇒ そのまま、その場所でお使いになれます。

電波を受信できているときが少ない
⇒ その場所では電波受信しにくいので、向きや場所を変えてください。
⇒ その場所では使用する場合はボタン操作で時刻を合わせてご使用ください (「電波を受信しにくい場合」参照)。
そして受信可能な別の場所できちんと電波受信を行ってください。

② 秒針の位置で設定を確認します

約5秒間、2時または10時を指します。
秒針の位置を確認したら ④ ボタンと ⑦ ボタンから指を離してください。
2時：電波受信機能がオン
10時：電波受信機能がオフ

③ 秒針が通常の動作 (時刻表示) に戻ります

- 手順1の操作を行うごとに、電波受信機能のオン／オフが切り替わります。
- オン／オフを切り替えた後、続けて「電波受信を行う」または「ボタン操作で時刻を合わせる」ときは、秒針が通常の動作 (時刻表示) に戻ってから操作を行ってください。
- リセット操作を行うと工場出荷時の状態 (電波受信機能がオン) になります。電波受信機能をオフにして使用する場合は、あらかじめオフに切り替える操作を行ってください。

電波を受信しにくい場合

●再度、電波を受信する

電波受信機能がオフになっているときは、電波受信の動作を行いません。
下記の操作を行っても電波受信の動作が行われないときは、「電波受信機能のオン／オフを切り替える」をご覧ください。

① 本機の向きや場所を変更します

部屋を上から見たところ

送信所

② 電波を受信します

⑦ ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ 秒針が12時の位置で止まり、電波受信を開始します。

- 秒針は止まっていますが時計内部では時を刻んでいます。時計と分針は動きます。

③ 本機を置きます

- 電波受信が終了するまで、本機に触らないでください。なお、ボタン操作を行うと電波受信を終了します。
- 電波受信が終了するまで最長で約15分かかります。

④ 電波受信が終了すると針が動き出します

電波を受信できたとき：現在時刻に修正します。
電波を受信できなかったとき：時刻を修正せずに、秒針が動き出します。

- アラームがスヌーズに設定されているときは、秒針は00秒の位置に止まったままになります。 (「アラーム機能の使い方」参照)

⑤ 電波受信の結果を確認します

⑦ ボタンを押すとライトが点滅／点灯し、最新の電波受信の結果を確認することができます。

⑦ ボタン ⇒ 押します

電波を受信できたとき：ライトが3回点滅
電波を受信できなかったとき：ライトが3秒間点灯

アラーム機能の使い方

設定した時刻にアラーム音を鳴らすことができます。

本機のアラームは、設定したアラーム時刻から30分～60分の間、一度止めても繰り返し鳴るスヌーズアラームです。

- アラーム音を止めた場合、約5分後にアラーム音が鳴り出します。
- アラーム音を止めなかった場合、「2分間鳴り続けた後に止まり、約5分後にアラーム音が鳴り出す」動作を繰り返します。
- アラーム時刻は10分単位で設定できます。
- アラーム時刻の精度は±5分以内です。
7:00にアラーム時刻を設定した場合、6:55～7:05の間にアラーム音が鳴り出します。

① アラーム時刻を設定します

本機表面の ⑥ つまみを反時計回りに回して、アラーム針を希望の時刻に合わせます。

⑥ つまみ ⇒ 反時計回りに回します

アラーム針をセットします

アラーム時刻は、午前と午後を区別して設定することができません。

③ スイッチを「スヌーズ」(上側) のままにしておくと、1日 (24時間) の間に、時計とアラーム針がかさなる「午前と午後の2回」アラーム音が鳴ります。

例えば、6時にアラーム針を合わせたときは「午前6時と午後6時」にアラーム音が鳴ります。

なお、「午前6時にはアラーム音を鳴らし、午後6時にはアラーム音を鳴らさない」ようにするには、午前6時にアラーム音が鳴った後に必ず ⑨ スイッチを「オフ」(下側) にしてください。

●電波を受信しにくい状態が続く場合

ボタン操作で時刻を合わせて使用します (「各部の名称」も一緒にご参照ください)。

① 時刻を合わせる状態 (セット状態) にします

④ ボタンを約3秒間押し続けます。

④ ボタン ⇒ 約3秒間押し続けます

SET WAVE RESET

⇒ セット状態になります。分針が早送りで動きます。

- 約6秒間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

② 時刻を修正します

④ ボタンを押します。

- 1回押します・・・1分進みます。
- 2秒以上押し続けます・・・分針の早送りをを行います。

- ④ ボタンを押しているとき秒針は停止します。秒針を合わせる機能はありません。
- 午前／午後の区別はありません。

④ ボタン ⇒ 再度、押します

時計・分針をセットします

③ 時刻を合わせる状態 (セット状態) を解除します

約6秒間、何も操作を行わないでください。

⇒ 自動的にセット状態が解除されます。

- 電波を受信できない場合は、月差±30秒の精度で計時します。
- ボタン操作で時刻を合わせた後に電波を受信できた場合は、受信した電波の情報に基づいて時刻を修正します。

② アラームのスヌーズ (鳴る) ／オフ (鳴らない) を設定します

③ スイッチの位置でアラームのスヌーズ／オフが設定できます。

③ スイッチ	鳴り方
スヌーズ スヌーズ オフ	アラーム時刻になるとアラーム音が約2分間鳴ります。 なお ① ボタンを押してアラーム音を止めても、約5分おきにアラーム音が鳴ります。 この動作を設定したアラーム時刻～最長で60分間繰り返します。
スヌーズ オフ オフ	アラーム時刻になってもアラーム音は鳴りません。

●鳴っているアラーム音を止めるには

- 鳴っているアラーム音を止めるには、① ボタンを押します (スヌーズアラームのため再び鳴ります)。
- スヌーズアラーム機能を解除するには、③ スイッチを「オフ」の位置にします。

●アラーム音をために聞くには

- ③ スイッチを「スヌーズ」の位置にします。⑥ つまみでアラーム針を時計に合わせます。
- アラーム音を止めるには、③ スイッチを「オフ」の位置にします。

●秒針の動きについて

- アラームを「スヌーズ」に設定すると、秒針が00秒の位置で止まります。就寝中に秒針が動く音が気にならないようにするための機能で、時計内部では時を刻んでいます。時計と分針は動きます。
- アラームを「オフ」に設定すると、秒針が「時計内部で刻んでいた時刻の秒」まで早送りされます。

●ベル音アラームのご注意

- 2か月に1回は、ベル音アラームを鳴らしてください。長い間使用しないと、鳴りにくくなることがあります。